

自殺!?!ちよつと待って!

— 思いとどまってもらうために —

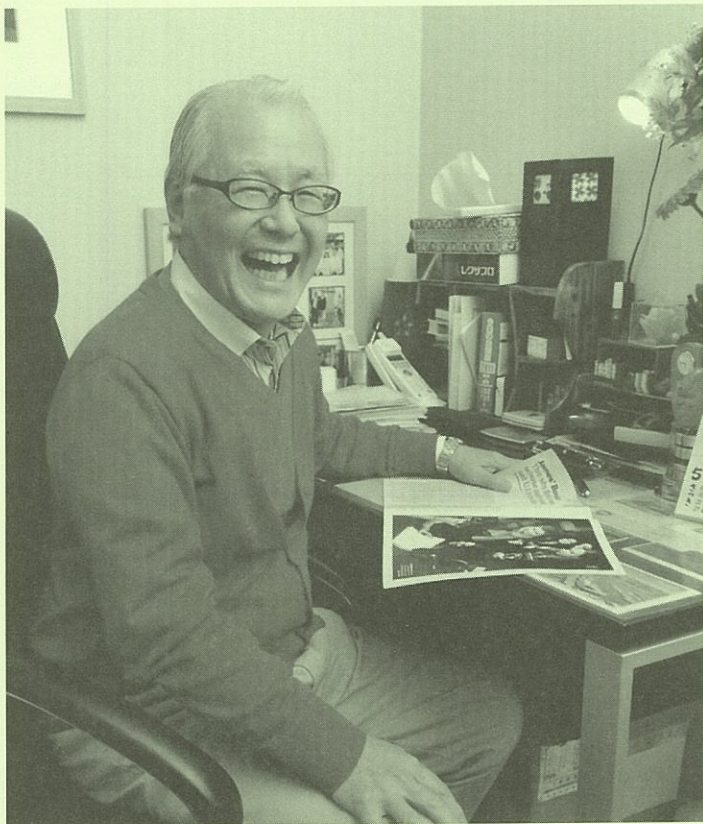
精神疾患、ギャンブル依存症に立ち向かう

2013年の日本における自殺者数は、27,283人と依然として高い数値でした。

自殺の原因は健康、経済などですが、多くの場合いくつかの要因が重なっています。その象徴といえるのが依存症で、年数をかけて、精神、身体までも害し、家族や知人を傷つけ、経済的破綻へと向かわせます。こうした苦悩の末の自殺もあります。

依存症は個人の性格や嗜好の問題ではなく、家族の問題でもあり社会の問題でもあります。精神科医の帯木蓬生氏は、このことについて早くから指摘されています。中でもギャンブル依存症は、2014年厚生労働省研究班の発表によると536万人で、極めて深刻な状況にあります。

今回の講演では「病的ギャンブル」の現状と対策について共に考えるとともに、「いのちの電話」の今後のあり方と可能性も探ってまいります。



帯木蓬生氏プロフィール

精神科医、小説家。福岡県小郡市生まれ。東京大学文学部仏文科卒、九州大学医学部卒。1992年、「三たびの海峡」で第14回吉川英治文学新人賞受賞。「閉鎖病棟」ほか著書多数。2005年福岡県中間市にて心療内科を開業。2008年急性骨髄生白血病に罹っていることが判明。半年間の入院生活の後復帰した。

第1部 記念式典

第2部 【講演】『病的ギャンブルとカジノ』

【講師】 帯木 蓬生 氏 (精神科医、作家)

第3部 『いのちの電話の可能性』

【対談】 帯木 蓬生 氏
林 幹男 氏 (福岡いのちの電話理事長)

日時

2014年10月25日(土)
13:30~16:00(開場13:00)

会場

都久志会館ホール
福岡市中央区天神4-8-10

参加費

500円(当日受付にて)

定員

500人

●参加応募方法

お申込みは住所・氏名・電話番号・「自殺防止公開講座希望」と明記の上、FAX(裏面申込票)、メールでお申込み下さい。受付後、参加券をお送りします。

●申し込み先

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7
「福岡いのちの電話事務局」
TEL.092-713-4343 FAX.092-721-4343